

6年生が、岩戸山古墳を見学しました！

9月1日（火）に、6年生が社会科の学習で岩戸山古墳へ見学に行きました。例年ならば、岩戸山歴史文化交流館や岩戸山古墳をゆっくり見学し、勾玉づくりの体験を行うことができるのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、時間短縮の見学となりました。それでも子どもたちは、学習したことを実際に目で見て確かめることを楽しみにしていました。

まずは、歴史文化交流館。ここでは、縄文時代から弥生時代にかけて使われていた道具に変化があったことやそれに伴い生活の仕方が変化したことを学んだり、実際に古墳のまわりに置いてあった岩戸山古墳ならではの「石人・石馬」を見たりしました。また、自分たちが住む矢部に深い関係がある南北朝時代の説明も受け、熱心に聞く姿が見られました。

次に、岩戸山古墳。古墳は「豪族の墓」だということを学んでいましたが、実際にそばまで行ってみると、とてつもなく大きいことを体感し、これが1人の墓だということに驚いていました。わたしたちが暮らす八女地方にこれほどの権力をもった豪族がいたことを肌で感じることができました。

学校に帰ってからは、いただいた勾玉づくりセットで勾玉を作りました。これからの歴史学習が楽しみになる素晴らしい社会科見学になりました。



ガーベラの花をたくさんいただきました。

先日、矢部小学校で長年勤務していただいていた K・J さんがご逝去なさいました。矢部小学校勤務当時は、子どもたちや学校のために尽力していただきました。同僚として、たいへんお世話になった本校職員も多く、突然の訃報に残念な思いでお参りをさせていただきました。

「K・J さんのご実家から」と、K・K さんからたくさんのガーベラの花を届けていただきました。矢部清流学園の教室や廊下に飾らせてもらいました。

K・J さんは、飾られたガーベラの花を通して、きっと、子どもたちの学校生活の様子を温かく見守っていただいているのではないかと感じました。ありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。



3・4年生が、矢部川探検を行いました！

9月4日(金)に、3・4年生が大杉自然塾で、矢部川の中流と上流の水生生物の観察を通して、水質調査を行いました。

この学習の目的は、

『①矢部川の自然に親しみ、ふるさとへの興味や感心、愛着を高める。②矢部川の自然環境を調べ、他地域の様子と比べることで、矢部村の自然環境の美しさや環境保護の大切さについて理解する。③友だちと協働して調べたり考えたりする活動を通して、協調性や課題解決の能力を身につける。』の3つでした。

矢部支所からH・Hさん、矢部公民館からE・Sさん、Y・Kさん、NPO 法人コスモネットからY・Yさん、K・Hさん、Y・Hさんの計6名の方々にご協力いただき実施できました。新型コロナウイルス感染防止のため、矢部川浄化センターの見学ができませんでしたが、船小屋の水生生物調査では、柳川市教育研究所から所長のH・Hさんに丁寧でわかりやすい指導をしていただき、観察するための資料や道具まで準備していただきました。そのおかげで、子どもたちは楽しく、熱心に観察を行うことができました。

昼食は、ご家庭で作っていただいたお弁当を河原にシートを敷いておいしくいただきました。

午後からは、矢部川源流公園での水生生物観察を行いました。友だちと協働して観察したり、矢部の自然環境の美しさを理解したり、ふるさとへの興味関心、愛着を高めることができた、とても素晴らしい矢部川探検でした。



9月10日(木)から自殺予防週間です！

9月10日(木)から16日(水)は、自殺予防週間です。これは、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向け、平成18年に自殺予防基本法が制定されたことにより、国、地方公共団体、関係機関及び関係団体等が一体となって集中的に啓発事業及び各種相談事業等を実施するものです。

本校では、教師が、日常生活での子どもたち一人一人の行動や思いをしっかり見とり、毎週月曜日には全職員で情報交換を行っています。子どもたちに、心配されることがあれば、早期発見・早期対応と保護者やスクールカウンセラー等の関係機関とも連携して対応しています。些細なことでもご相談ください。

「愛樹平和のエノキもり」がイノシシ被害か？

矢部清流学園の北側にある「愛樹平和のエノキもり」が荒らされていることが、S・T先生からの葉書でわかりました。4カ所ほど掘り返されており、きれいに積まれていた石垣も壊されていました。イノシシの仕業ではないかと考えています。こんな学校近くにイノシシが？猿の目撃情報もありますので、子どもたちの安全確保を第一に考えていきます。

